



つめかえよう!! 残食

ごみゼロ発祥の地 530とよし



530 全国へ発信

ぼくたちの住んでいる豊橋でもごみ問題は深刻化しています。そこで今回、家族4人で資源化センターへ取材に行き、ごみ処理の仕方や、ごみを減らすための方法などを教えてもらいました。

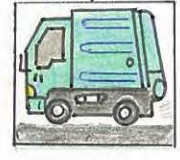
●ごみの状況

1年間に約15万トンのごみが排出されており、その約70%が家庭ごみである。市民1人1日あたりの家庭ごみの排出量は808グラムであり、愛知県や全国の平均よりも多くなっている。

うめたて処分場にも限りがあり、現在のペースでうめたてると、平成39年にはいっぱいになってしまう。ごみがすてられなくなってしまうそうである。(孝太)

●ごみ分別の仕方
もやすごみ、プラスチックごみ、こわすごみ、危険ごみ、資源の7つに分けてそれぞれする場所や曜日を決めて回収している。

約70台のごみ収集車がごみを集めている。(孝太)



発行
豊橋市立杉山小学校
6年矢野孝太
3年矢野夏希
平成26年1月5日
第3号



昭和55年にできて以来、24時間休みます。ごみを燃やしたり、資源を取り出している。

平成14年に、新しい焼却炉ができ、ごみを燃やしてはし(熱分解ドラム)、高い熱でごみを燃やしてどろどろにする方法(燃焼溶融炉)でたくさんのごみが処理できるようになった。(孝太)

- ### ごみ減量の8カ条(豊橋市)
- 1 買い物には、マイバックを持参カバンや車に入れておく
 - 2 詰め替え商品を利用する
 - 3 過剰包装を断る
 - 4 食材は必要な分だけ買うメモを持参
 - 5 残さず食べる
 - 6 生ごみはしっかりと水を切る母ギョツともうひとしぼり
 - 7 ごみの分別を徹底する分ければ「資源」混ぜれば「ごみ」
 - 8 物を大切に使う「もったいない」が大切

ひとりひとりの心がけ

資源化センターを案内してくれた佐藤さんが言っていたように、ごみを減らすには市民一人一人の心がけが大切です。

豊橋市ではごみ減量の8カ条ということで市民に呼びかけられています。(孝太)

ぼくたちもごみを出さないようにできることからがんばりたいです。(夏希)

熱分解ドラムの前で資源化センター佐藤さんと

母も見習うおばあちゃんのお知恵

おばあちゃんはお家の事をお母さんと協力してがんばってくださいます。おばあちゃんのお知恵は、生活の知恵についてまわっています。

①整理整頓をする。②買い物を行く時は、メモを持って行く。③買ったものをすぐ使う。④ストックは、1つにする。⑤再利用。⑥リサイクル。⑦リメイク。⑧リユース。

杉山グリーンウォーク

私たちの小学校では、杉山グリーンウォークという行事があります。杉山町の各所をめぐりながら、ごみ拾いをし、町をきれいにします。(夏希)

お手伝い

さいきん、私はつめかえの手つだいをよくします。手順とポイントをまとめてみました。(夏希)